

成田市教育委員会会議事録

令和5年11月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和5年11月14日 開会：午後1時30分 閉会：午後2時28分

会 場 成田市役所3階 第二応接室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部長	小 川 雅 彦
教育部参事	保 立 和 彦
教育総務課長	伊 藤 真理子
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	林 英 樹
学務課主幹	飯 島 博 之
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐 (書記)	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 佐藤委員、日暮委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○10月26日 文化財審議委員会について

本年度第1回目の文化財審議委員会でした。審議委員の任期が満了となり、新たに委嘱させていただいた委員の皆様で開催することといたしましたが、これまで審議委員をお願いしていた方2名が委員を退いたため、代わって新たに植物生態学がご専門の平田先生に就任していただくことになりました。また、委員長、副委員長は引き続き木村先生と濱島先生をお願いすることになりました。この日は本年度の文化財関係事業について、本年3月から8月までの埋蔵文化財の照会状況と発掘調査について、そして三里塚小学校の赤煉瓦門と貴賓館、防空壕についてそれぞれ国や県の登録文化財にできるかどうか、その経過と現状について事務局から説明したところです。この他、委員の皆様からは市の指定とした上福田岩屋古墳について、古墳の周溝の範囲を特定するためにも測量の必要がある。今後、県の指定になるように努めてほしいとのご意見をいただきました。

○10月27日 第41回成田市公民館まつりオープニングセレモニーについて

コロナ禍以降初めての公民館まつりということで、実行委員をはじめ各サークルの方々の熱い思いが伝わってくる内容でした。教育委員の皆様もご一緒に参加していただいておりますのでここでは特にご報告の必要もないとは思いますが、素晴らしい仕上がりの展示品の数々を見ているだけで楽しくなってくるような思いでした。

○11月1日 令和5年度第1回成田市総合教育会議について

この会議は全教育委員さんが参加され、それぞれご自分のご意見を述べられておりますのでここではあえてご報告の必要はないものと思います。とりわけ今回は学校に配備された一人1台端末を使った模擬授業に取り組んでいただくなどの体験もできました。もし皆様方からご感想やご意見があれば後ほどお伺いしたいと思います。

○11月6日 青少年劇場について

今年度の青少年劇場は、バグパイプと手回しオルガンの演奏、ピアノとトイピアノの演奏となりました。私は成田中学校を会場として開催されたこの演奏を聴いてまいりました。ティンホイッスルやバグパイプといったケルト楽器とピアノのスペシャルアレンジ演奏は本当に初めての体験で、その素晴らしさに圧倒されました。まさに青少年劇場にふさわしい芸術鑑賞会となりました。演奏の途中で生徒も舞台上がってバグパイプの体験をしたりする場面や、ピアノ奏者と連弾する場面もあり、生徒たちにとっては、見て、体験して、楽しいひと時が過ぎたのではないのでしょうか。

○11月7日 令和5年度第2回成田市学区審議会について

今回は議案として令和6年度の指定学校変更・区域外就学の要件について、また、宗吾2丁目の通学区域について、事務局案を審議会に諮問し、同日、この案に同意する旨の答申を受けました。詳細な内容については、後日担当課から報告がありますが、私から簡単に説明しますと、これまで部活動を理由にした指定学校変更では、指定学校に自分がやりたい部活動がない場合、自宅から最も近い学校で、その部活動を行っている学校に指定学校変更ができることとしていましたが、同じ小学校で同じ活動をしていた友人と自分が、それぞれの居住地の関係で、別々の中学校に指定学校変更せざるを得ない状況があった場合、その友人関係を考慮し、どちらか一方の中学校と一緒に指定学校変更しても構わないとする内容です。ちょっとわかりにくいかもしれませんが、ニュータウン地域では、自宅から近い学校が複数あり、どちらの学校に行っても通学が容易なため、こうした問題が起きてしまうのかもしれませんが、部活動が学校を決める一つの要件になっていることがそもそもの問題なのだと思いますが、子どもたちにとっては一大事なのだと思います。このような問題も起きるため、私は早く部活動の地域移行を進めていき、学校から部活動をなくして、学校の教育力に頼らなくても子ども達が自分のやりたい活動ができるようにさせてあげたいと思うのですが、委員の皆様はどうお感じになるのでしょうか。

○11月14日 成田市教育委員会表彰式について

本日午前中に執り行われ、委員の皆様にもご出席していただきました。本年度の教育委員会表彰の功績賞では、私も挨拶の中で申し上げましたが、被表彰者が多かったこと、様々な種目、分野で幅広く活躍されていること。それがこれまでにないほど広範囲に及んでいることに驚きました。多様な内容で全国的な活躍をされていることに対しある種の感動すら覚えるほどです。

今後ますますのご活躍をお祈りしたいと思います。

その他

○10月27日 第71回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会優勝報告会について

全日本実業団対抗陸上競技選手権、4×400mリレーで見事優勝した本市のエンジョイ中台スポーツクラブ所属の「チームドルフ」のメンバーが市長を表敬訪問してくださいました。メンバー4人の内、お一人は都合で出席できませんでしたが、3人の方からいろいろなお話を伺うことができました。そして当日のビデオも拝見させていただきましたが、第一走からトップを奪い、アンカーまでトップでつなぎ、最後、一度は抜かれたものの、最後の直線で抜き返し、見事優勝というシーンに感激しました。聞くところによると、アンカーは今年大きなけがをして十分な練習をしていなかったとか、それもあって前半は抑えて走り、後半最後の直線で地力を発揮し抜き返して勝ったということでした。一人400mを走り、これを4人でつなぐことは容易ではありません。選手は皆、県外の高校出身で地元の方ではありませんが、こうして成田市のクラブに所属しチームを結成して活躍しているということは素晴らしいことだと思います。普段は仕事をしていて、大会会場までの交通費も出ないまま頑張っているとか。大きな企業に所属し、バックアップを受けている選手ではありませんので、今回のこの快挙ともいえる成績は本当に素晴らしいと思いました。

○10月28日 成田小学校創立150周年記念式典について

長い歴史を持つ成田小学校の創立150周年記念式典が行われ、私も出席してまいりました。式典には歴代校長先生方も招かれており、懐かしい顔を拝見することができました。式典では子ども達が学校の歴史を振り返り、紹介する内容のビデオ映像が流され、懐かしく拝見させていただきました。当日は成田小学校のバザーも開催され、夕方からは親睦を兼ねた懇親会も開催されました。懐かしい顔ぶれとともに昔話に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごさせていただきました。

○10月31日 令和5年度成田市職員選考委員会（面接試験）について

新規採用を目指す、消防職、歯科衛生士、行政職初級等の採用最終選考となる面接試験を行いました。採用枠が少ないため狭き門となりましたが、受験者の皆さんのひたむきな姿が印象的でした。面接をしていていつも思うのは、人とコミュニケーションをしっかりと図れることが大切で、たとえどんなに学業成績が優秀であっても、それだけでは職員に採用できないという

ことです。そういう意味でも受験者にとって、面接試験は最大の難関かもしれません。

○11月2日 成田市職員表彰式について

市役所職員として、部長級の職に3年以上在籍した職員3名と、全国消防救助技術大会で入賞した消防職員8名に功績賞が贈られました。また、30年勤続の職員25名と20年勤続の職員20名の皆様が、それぞれ永年勤続表彰を受けられました。こうして表彰を受けられる皆様は皆、健康であるということ。それが何よりであると感じた次第です。今後も引き続きご活躍されますことを期待したいと思います。

○11月2日 第3回印教連定例常任委員会について

常任委員会では指定研究学校の公開研究会についての報告、明後日に実施される印教連研修視察の件、次年度の印教連事務局業務分担の件、印教連教育功労者表彰の際の選考委員の選出の件、等について確認、選出をいたしました。なお、本市では大栄みらい学園を来年度からの2年間、印教連指定研究学校といたします。

○11月2日 第3回印旛地区教育長会議について

年度末教職員人事と今年度の管理職選考の件で教育事務所から説明がありました。人事異動については特に例年と変わった内容はありませんでした。定年制の延長に伴い、役職定年制に該当する者のうち、適任者を勤務実績、面接等の選考により管理職として特例で任用する旨の説明もありました。ただし、管理職ポストは限られていますので、役職定年された後も校長や教頭で留まるということは、あとに続く者たちの職数を制限することにもなるわけで、それならそれで、継続して管理職として残る方を早めに決めていただくことが必要だと思ったところです。また、人事異動に関する教育事務所長と校長の面接のうち、第二次面接と言われる、職員の異動先内定通知がなされる面接については、その時期に異動者の内定ができないものが多く、あまり意味をなさないということから、教育事務所から今年度は中止にしたい、との申し出がありました。各市町教育長からは、確かに今のままのやり方では意味がないと思うが、せつかく人事異動事務の開始を1ヶ月早めたのだから、当然内定も早めていく必要がある、との意見もあり、現状の二次面接のやり方をもう一度見直してほしい、との意見で一致しました。

その後、共通課題について話し合いを持ちましたが、今回は部活動の地域移行の問題で協議しました。正直、印旛管内の現状で一番改革が進んでいるのは成田市で、他市はいまだに様子見のような状態が続いているようです。この問題については、後日行われたB&G全国教育長協

議会の中で様々な議論がありましたので、その報告の際に述べさせていただきます。

○11月6日 令和5年度第5回成田市校長会議について

校長会議はほぼ毎回、校長研究協議会の前段で会議を持たせていただき、教育委員会からの連絡をさせて頂いています。私もこの機会に普段思っていることを述べさせていただきます、校長先生方に考えていただく時間をとらせていただいています。当然、連絡事項に対する質疑応答の時間は設けてはいますが、あまり質問は出てきません。質問するような内容が少ないのかもしれませんが、私たち教育委員会事務局の方針や指導が良く理解されているのかもしれませんが、私自身としてはもっと時間をかけて言いたいことを言い合える会議を持ちたいと思っています。それが年に1回か2回の懇親会の席上ではなく、テーマを決め、協議できる場が欲しいと願っています。校長先生方もお忙しい方ばかりで、なかなかそうした時間が取れないのかもしれませんが、学校の実情を把握するには学校参観か個人面談しかないわけで、教育委員会が新たな教育政策を立案するためにはもっと校長先生方同士や、教育委員会事務局も交えた協議の場が必要だと感じている次第です。

○11月8日 B&G全国教育長会議について

全国各地のB&G施設を有する市町村が対象となる全国的な会議であり、この日は203市町村から教育長が参加しておりました。会場は東京のベルサール汐留で、広いイベントホールに参加者全員が並び、「地域の子どもは地域で育てる！子どもが主役の部活動改革」というテーマでシンポジウムを行いました。この問題は、今、どこの市町村でも重大かつ喫緊の課題であり、真剣な議論が行われました。中でも、既に2026年8月（令和8年8月）にすべての部活動を停止すると明言し、既に取り組みが順調に進んでいる静岡県掛川市や、できることからできる範囲で地域連携・移行へと進んでいる兵庫県南あわじ市の実践事例の発表がありました。両者の取り組み方で共通しているのは、主役は子ども、子どもの意欲を損なわずに活動の継続を真剣に考えているというところでした。本市においてもすでに1部活の地域クラブ化は行っていますが、子ども達や保護者の意識改革には程遠い状況です。学習指導要領総則に示されている学校における部活動の考え方も変わっていません。こうした中で持続可能な地域活動として今後何をどうしていけばいいのか、大変参考となる話し合いができた実感しました。シンポジウムのファシリテーターは、一般社団法人未来地図の代表理事であり、前長野県飯田市教育長の代田 昭久 氏、また、シンポジストとして、スポーツ庁地域スポーツ課長の橋田 裕 氏、株式会社オフィスホシノ代表取締役であり、ラグビートップリーグの東芝ブレイブル

ーパス東京のプロデューサーの 星野 明宏 氏、そして筑波大学体育スポーツ局研究員であり、つくば市部活動改革統括コーディネーターの 稲垣 和希 氏の3氏が務めました。それぞれの熱のこもった提案と熱い議論が続き、予定時間を大幅に上回る状況でした。

○11月9日 千葉県教育庁北総教育事務所指導室訪問について（平成小）

この日は、佐藤職務代理者、片岡委員、岡本委員もご出席されておりますので特にご報告は致しませんが、参加された委員さんのご感想があればこれについても後ほどご発言頂きたいと思えます。

○11月12日 成田POPラン大会について

小雨の中、開催されたPOPラン大会。今回からハーフマラソンがなくなり、10kmと3kmの部だけになってしまいました。参加者数も以前の数には到底及びませんが、それでも2,300名を超える方々の参加応募がありました。ただ、当日雨天だったこともあって欠席者数がかなりの数に上ったようです。また、スポーツツーリズムをうたい、市内外から多くの方々を呼びこもうとするなら、「成田だから」という特色のある大会にしていけないと、魅力を感じてもらえないのではないかと、心配しています。コース設定の際には、どうしても交通規制の問題があります。駅近くに競技場がある利点はそのままに、どうしたらより魅力的な大会になるか、参加者をはじめ、多くの方のご意見を伺いたいと思いました。また、この大会の運営側についていつも思うのは、「成田市民の部」を設け、入賞も、男女別、年代別に細かく分けてたくさんの賞品を用意しているということ。また、運営は委託業者にやってもらうのではなく、すべて市の職員と応援の体育関係団体の皆様のボランティアで行っていることが特徴として挙げられ、それはそれで市民の手による大会だということで意義のあることだと思っています。

○11月13日 令和5年度第2回総合計画策定委員会について

「NARITAみらいプラン」第3期基本計画の策定にあたり、公表した原案に対するパブリックコメントの結果、議員からの意見に対する回答、そしてこれらを受けて修正された基本計画原案について協議しました。さらにいくつかの修正すべき点について委員から意見がありましたが、概ね原案の通りで良いということになりましたので、今後、議会への報告を経て決定される見通しです。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：10月27日の公民館まつりオープニングセレモニーに参加してきました。秋晴れで天気にも恵まれ、コロナ前の最後の公民館まつりは確か荒天だったと思いますので、室内の行事であっても、やはり外が晴れているということはとても気持ちがいいものだなと感じました。

また、総合教育会議でのタブレットを使った模擬授業では、実際に自分の回答を写真に撮って、送って、みんなの回答が一瞬にしてわかるという状況を体験し、このように使っていくのかと体感することができました。我々是不慣れながらもなんとかできましたが、学校訪問の際に子どもたちがスムーズに取り組んでいる様子を見ておきますと、公開研究会でも他市の状況を見てきましたが、成田は積極的に活用しているなと感じました。

青少年劇場については、玉造中学校で鑑賞させていただき、ケルト音楽を気持ちよく聴かせていただきました。

その他、音楽関係ではスクールコンサートに参加しましたが、会場での子どもたちの反応がとてもよく、司会や楽団員からの投げかけに積極的に答えている様子を見ることができました。「ビリーブ」の合唱も素晴らしく、感動いたしました。

指導室訪問では、新山小と平成小に伺いました。新山小の学級活動の場面では、先生はほとんど口を出さずに子どもたちに運営させ、先生はそれをサポートしており、子どもたちにできることをどんどんやらせている様子を見ることができ、指導力がある先生だなと感じました。

片岡委員：私も10月27日の公民館まつりオープニングセレモニーに参加してきました。館内をご案内いただいた中で、大正琴サークルの体験会に参加させていただき、1曲弾けるようになりました。会員の皆さんとお話をさせていただきましたが、高齢化で会員数が減っていて、新たな会員を募ることや活動を広めることが大変そうな印象を受けました。

青少年劇場は、来週西中で参加させていただきます。

スクールコンサートでは、やはり「ビリーブ」の合唱はとても感動しました。子どもたちが大きな声を出して歌えるようになったことをうれしく思いましたし、手話で「ビリーブ」を歌っている学校もあり、すごく心が温まる時間でした。コンサートでは、楽器について丁寧な説明があり、子どもたちが楽しんで聴いている様子がわかりました。

11月5日の子どもどまんなかフォーラムでは、開催に先立ち、子ども達から任意のアンケート調査を行い、250名程度の声を集めることができました。当日は、成田市の健康こども部長にもパネラーとしてご登壇いただき、行政と国のご意見を聞けてよい機会となりました。いろいろなお話を伺っておりますと、初めて聞く内容もあり、これまで公民館に学習スペースがあることは知っていたのですが、公民館の空き部屋も学習スペースとして使えるということは知りませんでしたので、こういった情報を上手く発信し子どもたちがそれをキャッチできる仕組みができると施設の有効活用にもなるのではないかと思いました。フォーラムは2部構成で行われ、第2部ではテーマに沿った内容で、不登校に悩むお母さんたちがどこに相談してよいかわからないとか、発達支援センターの利用方法についての意見など、様々な声が聴けて勉強になりました。報告書がまとまりましたら、皆様にお伝えできればと思っています。

学校訪問では、新山小と平成小に伺い、総合教育会議で体験させていただいたタブレットについて、授業での活用方法がよくわかりました。感想ですが、平成小では大人が多かったと思いました。近隣の先生方が参加しやすかったのは良かったのですが、子どもにとっては見学者が多すぎるのも緊張するので、別けられるよいのではないかと思いました。

その他、11月12日の子ども会まつりに参加してきました。今、子ども会の数が減少していて、地域に子どもが集える場なくなりつつあります。親たちも仕事とかが忙しいこともあり、役員を引き受けてくださる方も少ない状況にあります。当日は、ゲームや飲食コーナーがあり賑わっていましたが、今後、運営を担っていただいている方が減っていくことも課題となるのではないかと感じました。

日暮委員：私は10月27日の公民館まつりオープニングセレモニーに初めて参加させていただきました。実行委員の方々が、駐車場係や案内係などいろいろな場面で貢献くださっていて、またセレモニーでは実行委員長さんの熱い思いを聞かせていただきました。利用者の多くが若い頃から公民館に親しみを持ってきたことがよくわかりました。私自身も教員時代に中央公民館で英語のスピーチコンテストで使わせていただき、かつては先進的に様々な活動に利用させていただいていたことを感じました。今後、新しい公民館が計画されているようですが、若い方々が長く年を重ねても使えるような公民館になっていただけたらと感じました。

11月2日に新山小の指導室訪問に伺わせていただきました。1年生でタブレットを使った算数の授業をやっていたのですが、ノートに書いたものを写真に撮って、子ども達同士で共有しておりました。まさしく総合教育会議で体験させていただいたことを1年生がスムーズにやっている様子を目の当たりにして、これが今の状況なのだと改めて感じるとともに、うまく進んでいるのだと感じることができました。加えて、これまでの日本の教育の中で培ってきた話し合い活動の授業も丁寧に行われており、成田の特徴でもあるALTとの英語の授業もとても楽しく展開されており、学校の様子を拝見できるとてもありがたい機会でした。

5. 議 事

(1) 議 案

審議の順番を変更し、議案第3号から審議し、その後、議案第1号及び議案第2号を審議する。

また、議案第1号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

議案第3号「令和5年度末及び令和6年度成田市立小中義務教育学校教職員人事異動方針について」

林学務課長：

お手元の資料の2・3枚目をご覧ください。県費負担教職員の人事異動は、千葉県教育委員会の人事異動方針及び人事異動細目に則って行われますが、本案は千葉県教育委員会の方針等を尊重しつつ、成田市教育委員会としての人事異動方針を定めるものです。

今年度、県の人事異動方針につきましては、昨年度と変更はございませんが、人事異動細目においては、主に、定年引上げに伴う再任用職員の取扱いについて記述が変更されました。

具体的には、これまでの再任用制度は「暫定再任用」と表現を改めるとともに、年度末60歳の職員が一旦退職した上で、定年となる年齢まで短時間勤務職員として採用する、「定年前再任用」制度が新たに設けられ、必要な事項が記載されました。

本市の人事異動方針におきましては、昨年度、基本方針等について改訂を行ったところですが、県の異動方針の変更がないことを踏まえ、本年度末におきましては、昨年度の基本方針を継承し、人事異動を行ってまいりたいと存じます。

《議案第3号に対する質疑》

日暮委員：定年前再任用とは具体的にどのような働き方なのでしょうか。

林学務課長：今年度末に60歳で退職される方は、引き続き1年間は短時間職員として採用するものです。

日暮委員：退職金の取扱いはどのようになるのでしょうか。

林学務課長：退職金は60歳が最大となりますので、長く働いても上がりません。

日暮委員：表彰関係はどうなるのでしょうか。

林学務課長：60歳で役職定年になりますので、校長の職は外れますので、これまでどおり60歳が基準となります。

関川教育長：今後、定年が2年に1歳ずつ伸びていきますので、複雑になってきます。

関川教育長：他にご質問等ございませんか。

特にないようですので、議案第3号「令和5年度末及び令和6年度成田市立小中義務教育学校教職員人事異動方針について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

《これより非公開》

議案第1号「令和5年度12月補正予算要求書（教育費関係予算）の提出について」

伊藤教育総務課長：

本案につきましては、成田市議会12月定例会に提出する補正予算案がまとまりましたので、教育委員会会議の議決をいただきまして、市長に申し入れを行うものです。

今回の補正は、歳出において、大栄地区小中一体型校舎建設事業で継続費の減額をしようとするものです。

また、令和6年度当初に業務を開始するにあたり、本年度中に競争入札等の契約事務を行う必要があるため、施設の維持管理や学校ICT支援の業務、単価契約の委託料や借上料等について、債務負担行為を設定しようとするものです。

それでは、資料でご説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。歳出予算の一覧です。

大栄地区小中一体型校舎建設事業において、継続費として、713万9千円を減額しようとするものです。

事業の概要につきましては、後ほど、学校施設課長からご説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

次に、資料の2ページをご覧ください。債務負担行為の一覧です。

内訳といたしまして、学校施設に係る維持管理委託料では、5千946万9千円、公民館及

び図書館の社会教育施設に係る維持管理委託料では、1千752万3千円、学校ICT支援委託料では、1千868万4千円、学校給食施設に係る維持管理委託料では、771万7千円をそれぞれ限度額とする債務負担行為を設定しようとするものです。いずれも本年度中に契約締結までを行い、支出については、令和6年度に行うこととなります。

続いて、資料の3ページをご覧ください。

こちらは、各種事務事業で使用する公用バスの運行に関する経費や清掃用具等の借上料など、単価契約となる債務負担行為の一覧です。

こちらにつきましても、本年度中に入札等の契約事務を行い、支出については、令和6年度に行うこととなります。

続いて、資料の4ページの中段をご覧ください。

こちらは、工事の施工時期の平準化等を目的として、来年度予算に計上する工事を前倒しし、本年度内又は来年度早々の工事着手を可能とするため、債務負担を設定しようとするものです。

内訳といたしましては、本城小学校増築事業で1千200万円、学校給食施設整備事業で1億4千692万7千円をそれぞれ限度額とする債務負担行為を設定しようとするものです。

続いて、歳出予算の事業概要につきまして、学校施設課長からご説明させていただきます。

越川学校施設課長：

資料5ページ、6ページをご覧ください。

大栄地区小中一体型校舎建設事業ですが、令和5年度を継続費の最終年度として事業を進めてまいりましたが、屋外倉庫兼便所新築工事において入札不調が続き、年度内の事業の完了が見込めなくなったことから、継続費の期間を令和6年度まで延長し、年割額を変更し、今年度の執行残見込みの歳出予算を713万9千円減額し、令和6年度に計上しようとするものです。

事業スケジュールですが、多目的グラウンド整備工事は完成しております。

防球ネットや散水設備整備工事などは令和5年度中に完成する見込みですが、屋外倉庫兼便所新築工事、場内通路整備工事につきましては、令和5年度から令和6年度にかけて実施する予定としています。

《議案第1号に対する質疑》

片岡委員：学校給食施設に係る維持管理委託料というのは、今ある施設の維持管理に関する経費で、これからできる施設の経費とは別で、維持するためにかかる経費ということでしょうか。

福島学校給食センター所長：その通りです。

関川教育長：その他、何かございますか。

他にないようですので、議案第1号「令和5年度12月補正予算要求書（教育費関係予算）の提出について」を採決いたします。

本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

《非公開を解く》

議案第2号「教育に関する事務の点検及び評価について」

伊藤教育総務課長：

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育に関する事務の管理や執行の状況につきまして、成田市教育事務評価委員による点検及び評価を受け、その結果を報告書として取りまとめましたので、本日、議案として提案いたします。

本報告書は、本日の教育委員会会議において可決いただきましたのち、成田市議会12月定例会にて報告するとともに、市のホームページでの公表を予定しております。

点検・評価の方法といたしましては、本市の教育に関する基本的な方針である成田市教育大綱の7つの基本目標を、資料に掲載しておりますが、これらを施策の柱と位置づけ、それぞれの

対象事業から抽出して評価しております。

本年度は教育委員会各課が所掌する事業のうち、庶務的経費を除いた事業の中から24事業を選定いたしました。

評価結果といたしましては、A評価が16事業、B評価が8事業でございます。各事業の担当課におきましては、この評価結果やご意見を、しっかりと受け止め、今後の事業の執行に反映できるよう努めてまいりたいと思います。

《議案第2号に対する質疑》

片岡委員：柱3では、生涯学習課の事業でB評価が2つありますが、その要因をお聞かせください。

野村生涯学習課長：様々な団体にご協力を頂きながら活動をしておりますが、まだ参加者数や事業内容が不十分であるとのこと指摘からBの評価を受けております。

日暮委員：昨年度と比較しますと、指標についてもより分かりやすくなったり、イメージしやすいものになっていて、今後ホームページで公開する際にも、市民の方にも分かりやすくなるのではないかと感じました。

具体的には、9ページの学校給食の事業で給食無料化の人数であったり、食物アレルギーのお子さんに対する助成について書かれており、取り組みがより分かりやすくなっているなど感じました。また、11ページの英語科研究推進事業ですが、昨年度の指標から今回は学力調査の平均正答率であったり、よりイメージしやすく、わかりやすいものになっているなど感じました。生涯学習の分野では、25ページに明治大学・成田社会人大学運営事業があり、参加人数に努力が必要であるとのことでしたが、年度の途中で再募集をかけるなどの取り組みがされており、大変ありがたいなと思いました。また、高等学校等開放講座開催事業は、どのような状況か気になっておりましたので、ここにさせていただき内容がよくわかりました。ありがとうございました。ここで扱って

いる事業は、多岐にわたる教育委員会の事業の一握りだと思いますが、それぞれ事務局の方々がより良くしようと市民のために努力をしてくださっていることがよく分かりましたので、これを公開することで、市民の方のご理解が進むのではないかと感じたところではあります。

関川教育長：他に、何かございますか。

特になしですので、議案第2号「教育に関する事務の点検及び評価について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

6. その他

特になし

7. 教育長閉会宣言